

認定NPO法人 アサザ基金

一般助成

1年目

実践

世界湖沼会議に向けた 水環境保全に関わるESDの 普及と推進



児童の町づくりの提案・市職員と意見交換

ESD実践校数

36校

ESD実践活動の
延べ参加生徒数

10,176人

活動の全体目標に
対する達成度

30%

課題

子どもたちが、小中学生の段階から地域の特色を引き出し、特色を生かす力を身に付けるための学習をし、主体的に各地域のESD実践活動やまちづくりに参加し取り組むこと。

活動内容

- 湖沼や河川、干潟、内湾など国内の代表的な地域の学校(茨城県牛久市・霞ヶ浦流域、秋田県八郎湖流域、三重県大紀町・大台町、福岡県北九州市、岡山県、青森県等)でESDによる実践活動
- 小中学校のESD活動の発表会の実施、ESD実践地域同士の交流
- ESD実践活動の授業に補助指導者を参加させ、学習プログラムの作成や授業等の運営を担当、若手指導者の育成



ESD実践地域の交流会
(牛久・秋田・北九州)

今後の課題

- ESD実践校・地域の参加者・関係者へのインタビューや聞き取り調査の実績を数値化・分析すること
- アサザ基金独自のESDの実例や概要を翻訳(英訳、中国語訳)し、外部へ発信すること

成果と工夫した ポイント



成果

- ・秋田県潟上市内にてESDプログラム実践の地域担い手育成塾が立ち上がる
- ・ESD実践校が4校増える

工夫

調査の徹底や地元団体・関係者との連絡を密にし、各活動地域の要望、課題、状況等に合致するように努めた。